

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

担当課長名：菊地 春海

事業名	一般県道 <small>とよかわがまごおり</small> 豊川蒲郡線	事業区分	地方道	事業主体	愛知県						
起終点	愛知県豊川市御津町金野地内 <small>とよかわ みとちようかの</small>			延長	1.5 km						
事業概要	一般県道豊川蒲郡線は豊川市御油町を起点とし、御津町を経て蒲郡市蒲郡町に至る総延長約12kmの一般県道である。本工区は将来的に名豊道路国道23号蒲郡バイパス（仮称）金野I.Cのアクセス道路となる重要な路線。										
H25年度事業化	H22年度都市計画決定	H26年度用地着手	未着手								
全体事業費	約8.5億円	事業進捗率	約8%	供用済延長	— km						
計画交通量	2,700台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.1	総費用 (残事業/事業全体)	6.5/8.2 億円	総便益 (残事業/事業全体)	17.2/17.2 億円					
	(残事業)	2.6	事業費：5.5/7.2 億円 維持管理費：1.0/1.0 億円	走行時間短縮便益：13.3/13.3 億円 走行経費減少便益：3.2/3.2 億円 交通事故減少便益：0.8/0.8 億円	基準年：平成27年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.3 (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=1.9~2.4 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.3 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.9~2.4 (交通量 ±10%)	事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)	事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)	事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.3 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=1.9~2.4 (交通量 ±10%)										
事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=2.0~2.3 (事業費 ±10%)										
事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)	事業期間：B/C=2.0~2.2 (事業期間 ±20%)										
事業の効果等	①連携力の強化 地域高規格道路へのアクセス性の向上に寄与 ②交通安全対策の推進 通学路の歩道設置による安全性の確保										
関係する地方公共団体等の意見	・「県道豊川蒲郡線改修促進同盟会」において事業区間の早期整備を要望										
事業評価監視委員会の意見	・継続が妥当と判断される										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・特に大きな変動はなく、依然として必要性は高い状況である。										
事業の進捗状況、残事業の内容等	・事業進捗率は8%。用地進捗率は14%（平成26年度末） ・全線未供用										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・事業費の増加に伴い、完了年度を平成32年度とした。										
施設の構造や工法の変更等	・今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものとする。										
事業概要図											

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。